



pr
プレイプ
ya

FOR
ADULT
ONLY

これまでの あらすじ

JS事件から1ヶ月。フェイト・T・ハラウン執務官は、スカリエッティの残党がいるのではないかと、という情報を得、スカリエッティの廃棄ラボのひとつに向かう。そこに待ち受けていたのは、スカリエッティのコピーと再生ナンバーズ軍団だった。対フェイト絶対防御の回廊と、優しさゆえに「相手を殺す戦い方に」躊躇したため、体力と魔力を消費したフェイトは、「フェイトを犯し苦しめぬくこと」を目的とする再生ナンバーズⅡ、Ⅲ、Ⅵ、Ⅶの巧みな連携によって肉体を蹂躪されてしまうのだった……

さらに再生ナンバーズの責めは続く。ウエンディの器具調教、クアットロの幻惑&言葉責め、ノーヴェの秘所攻め&イラマチオ……猛攻に必死に耐えたフェイトだったが、隙を突いたチンクによって守り通した秘所への進入を許し、精液を注ぎ込まれてしまう。さらにディード&オットーの挟撃で快楽を根こそぎ引きずり出されたフェイトは、肉棒を貪ってしまうのだった……はたして、恥辱にまみれたフェイトの運命は……？

フェイトへの復讐を第一にインプットされており擬似人格をひとがたに移植したコピー体である（再生ナンバーズも同様）クローン生成の折に生み出された。フェイトを精液から魔力を精製する魔力供給機に改造し永久に犯し抜こうと企む。

**再生ナンバーズ
(No. 1~No. 12)**
オリジナルの人格をベースに、より教授の因子を強く設定されており、更正は不可能。下半身には教授と同じ男根を装備し、性欲の異常発達とフェイトの肉体を魔力供給機に作り変える機能を持つ催淫精液を発射する。それぞれが陵辱用の能力・E-1Sを備えており、得意分野でフェイトに戦いを挑む！





フェイト・ T・ハラオウン

ご存知、時空管理局随一の執務官にして「心優しき金の閃光」の異名を持つ魔道士。今回はさらなる陵辱地獄が待ち受ける。逆転の好機はあるのか？

登場人物紹介

再生（コピー）
スカリエッティ

次なる
陵辱の宴が
始まる……

そして

ん……

「……」……

ギョッ……

お目覚めかね……

ギョッ……

あなたは……

どうだい……
キミの意思で
私に服従する気
になったかね？

どうやら無事に
精神がリカバリー
できたようだね
フェイト・テスタロッサ

意識の無いまま魔力供給機に
作り変えてもよかったのだが
おもちゃが壊れてしまつては
遊んでいて面白くないからね……
私は優しいだろう？

スカリエッツィの
コピー体！

私はあなたの邪な野望には
絶対に屈しない！
絶対に……！！

絶対に屈しない
……ねえ

では聞くがその正義感で
無駄な抵抗をしたあげく
キミはどうなったの
だろうねえ……

その時のことを
今一度思い出して
みたらどうだ？
フェイト・
テスタロッサ！

わッ

再生ナンバーズに
蹂躪されて……

スカリエツティと
同じ形の男根を……
同じ匂いの精液を……
求めてしまった……

ハーツハツハツハ……
己の不埒な行為を
思い出したようだね
フェイト・テストロッサ!

絶望に染まった
いい顔だ……
私はその顔が
見たかったのだよ!

ドビ
ゴブ
ドブ

快楽に流され自ら男根を
受け入れるなんて
私はなんてことを……

魔力フィードバックシステムへの
肉体変換はすでに始まっている……
我々の魔力補充に支障のないように
キミの精神はたとえ壊れても
壊れる寸前のバックアップから
復元されるように作り変わった
催淫精液によってね

キミは責め苦によって心が壊れる
ことさえ許されていないのだよ……
そして永遠に我々の生きる糧として
犯され精液を注がれ
魔力を供給し続けるのだ……

さあ調教を
再開しようか……
キミが悦んで我々に
魔力を供給するように
するために……ね

サッ

ああ……

ビクビク

ああっ…

しっ
しっ

突起に触れただけで
腫は潤み口から涎を
垂れ流して感じてしまう…
それが今のお嬢様です

ガクッ

ガクン

もうお嬢様の肉体は
肉欲の虜…
いかなる抵抗も
ムダです

おや もう濡れていますよ
フェイトお嬢様…
犯されたことを思い出した
だけでこの様ですか

そして少々まさぐられた
だけでこの反応…

私は…決して
諦めない…

はあ

はあ

そして最後は
あなたたちを
更正させて見せる

更正…
更正ですか…
この状況でさえ
まだそんな甘いことを
まだ言うのですね
お嬢様…

では いいことを
教えて
さしあげましょう

ドクターも私たちも
自分の敗北を
悟った時
自壊作用で
自滅するように
作られているのです

そんな…

何とか殺さずに
捕らえようという
あなたの行為自体が
無駄だったので

我々が負けた時にも
あなたの心を
傷つけられる
ようにね

つまり我々とあなたには
「殺すか犯されるか」の
どちらかしかないのですよ

ビクン

ガク
ガク

しっ
しっ

しっ
しっ

ガク
ガク
ガク



我々は擬似人格を機械人形に移したデバイスのような存在
同情は無用……それに

ト……

それでも我々を救おうと考えているのですか？

我々はあなたをこうやって鬻りモノにする事に悦びを感じているのですよ

では、フェイトお嬢様
あなたの今の状況を分らせてさしあげます

IS……
フローレス
セクレタリー

あくまでも我々に屈しない
お考えのようですね

はあ
はあ

あぁあぁあぁ
びびびび

びびびび

びびびび

びびびび

ま……け……
ない……
……っ……！

びびびび……

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

はあああああ

ブルン

ダメ……なのに……
体が……
体が勝手に
感じてしまう……

このままでは……
本当に気持ちいいところ
剥き出しにされてしまう

性感を開放されたら
もう二度と快楽に
抗えなくなる……

拘束されても
指先は動く……

解除プログラムで
リンクを絶てば……

な……に……？
触られてもいないのに
体が反応してる……

キーボードに配置された
無数の鍵盤が
お嬢様のあらゆる性感帯と
リンクしているのです

お嬢様の肉体は完全に掌握しました
これからお嬢様の性感を
むき出しにしてさしあげます

イニャアアアア

なんとか
しないと……

あああ……
あああ……

ブルン
ブルン

ウツ



性感のポイントを付けば
身動きを封じることなど
造作もないこと……

無駄です

己の肉体が己の意志では
どうにもならないことが
お解かりですか？
おとなしく屈服なさいませ
フェイトお嬢様

ああっ！

この私と電子戦で
渡り合えると
お思いですか？

ていこう…できない…
けど………ここで
あきらめるわけには
いかないっ……！

不可視の司書からは
逃れられません

はあ
はあ
はあ



それは
おもしろそう
ですわね……



まさか……
この先があると
いうの……？



遠慮なく
しつけさせて
いただきますわ！



クアットロ オットー
お嬢様の性感リンクは
あなたたちのキーボードにも
対応させてあります

お嬢様への
しつけを
手伝って頂戴

……この先は、お嬢様の
性感リンクの効果が
発揮されるはず



から…だ…が…
むねが弄ばれてる

無理矢理…に
ヨガラされて…る

ガバッ

がうがう

なるほど これは
面白いですわ
鍵盤を上手く使えば
肉体を思うままに
できますのね!

しかも対応している性感帯の
鍵盤を同時に押すことで
与える快楽をコントロール
できるとは…
さすがウーノお姉さま
完璧な仕事っぷりですわ

さあオットーちゃんも
やってみなさい

ああん

ピクン

……?

ピッ

ダダダダダダ

あああ

いりゅん
いりゅん
いりゅん

いりゅん

いりゅん

いりゅん

いりゅん

……

いりゅん

VIII

VIII



ダメ...
それはダメ...
かんじすぎ
ちやうど

こねなほいごー
ワッ...おくら
まかせなほいごー

グググ
グググググ...

ググググ

グググ

グググ

ドバァ...

グググ
グググ

グググ

グググ

グググ
グググググ

グググ
グググ

グググ

ググググ

全身を駆けめぐる
この感触……
きもちいい……
たまらない……

イッてはダメ……
一度深く
イッてしまったら
もう歯止めが
利かなくなる……

耐えなきや……
でも感じちやって
体が跳ねちやう……
あはあ……

や……ダメ……
深いのが
込み上げてくる……

ビクッ
ビクッ

ビク
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ブルン
ブルン

前準備は
整いました
そろそろ
仕上げて
入らせて
いただきます

ダラダラダラダラ

全性感開放!

あ
あ
あ

びび

カ
タ
カ
タ

カ
タ
カ
タ

カ
タ
カ
タ



もうがまん
できなよー！
イクイクイクイク

イクイクイクイク
イクイクイクイク
イクイクイクイク

とまらない…
きもちいいの
とまらない
とまらないいーっ

あ…あ…
な…に…？
イク…の…
とまらない…



ピクピク

うわーすごいすごい！ イキまくり！
悶えまくり！ ……でもさー
あんなに液体垂れ流して大丈夫なの？

ブルブル
ブルブル
ブルブル

ドボドボドボドボ

問題ないよセイン
これは性感を開放したことによって
彼女の肉体が魔力供給マシンに変換しつつある証さ…
本来なら快感をスイッチに精液を糧に
我々に魔力を供給するようになっていたのだが
性交無しでイカされたため
体内に吸収されていた精液を魔力に変換したものの
行き場を失い排出されているだけさ

ぶるぶる

ガクガク

ただ…魔力排出時には
性交と同様の快感を伴うように
なっているから
反応が過剰になっただけはいるがね

ドボドボ
ドボドボ

ドボ

ガクガク
ガクガク

おーあー
イクー
イクー
ためえー
とまらたいい

いやあああ
イキ汁出ちゃうう
出ちゃうう

びく

びく

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

フェイト・テストロツサは
もうすでに肉体は立派な
魔力供給機に改造されており
肉欲として申し分ないよう
に調整されていることだ

イクの...まだ...
つづいて...る...

こんなに淫らな
肉体にされていた
なんて.....

あふ! あふ!
ああ...

あー あー

やはりキミが無様に
悶える様を見るのは
楽しいなあ.....

だが
そろそろ見ているだけでは
寂しくなってきた

ビクビク

ガクガク

キミがあまりにも
いやらしいから
私のモノはこんなに
なってしまったよ!

ピクッ

ぐっ

見たまえ!



なくさめておくれ
フエイトテストロッサ...

やああ!

グリュ



早く入れたいなあ、
だが私がキミの中に入るのは
キミからお願ひされた時と
決めているんだ

あおあ
あおあ
あおあ

ズキョム...

あ
あ



気持ちよくて
たまらないだろう?
キミも入れて欲しいだろう?
私のモノと
交わりたいだろうか?

見てごらん...
愛液が糸を引いてる

ああ

ぬと

ゴニョ
ゴニョ
ゴニョ

ビク

私たちは互いに求め合っているのだよ

ゴージュュー

さあ…入れて欲しいと言っでごらん…

あああああ

ビクッ

ゴージュュー

ちくちく…

はあ

ビクッ
ビクッ
ブルッ
ブルッ

ビクッ

ああああ

体がこじまわっている…
気持ちいい…
欲しい…
入れて欲しい…

ゴレが欲しくてたまらない…

このまま腰を沈めて
コレを啜え込みたい…

はあはあ

でも…
まけない…!

い…や…あ

グジュン

グジュン

ダラ
ダラ
ダラ

ダラ
ダラ

ブルッ
ブルッ



ビン
はああ!

ビン
ビン
ああ!

ビーン

これなら
どうかな?

では

ビーン

ギリ

ギリ

ギリ

ああ
いやあ
ああ

ビーン

ビーン

ギリ

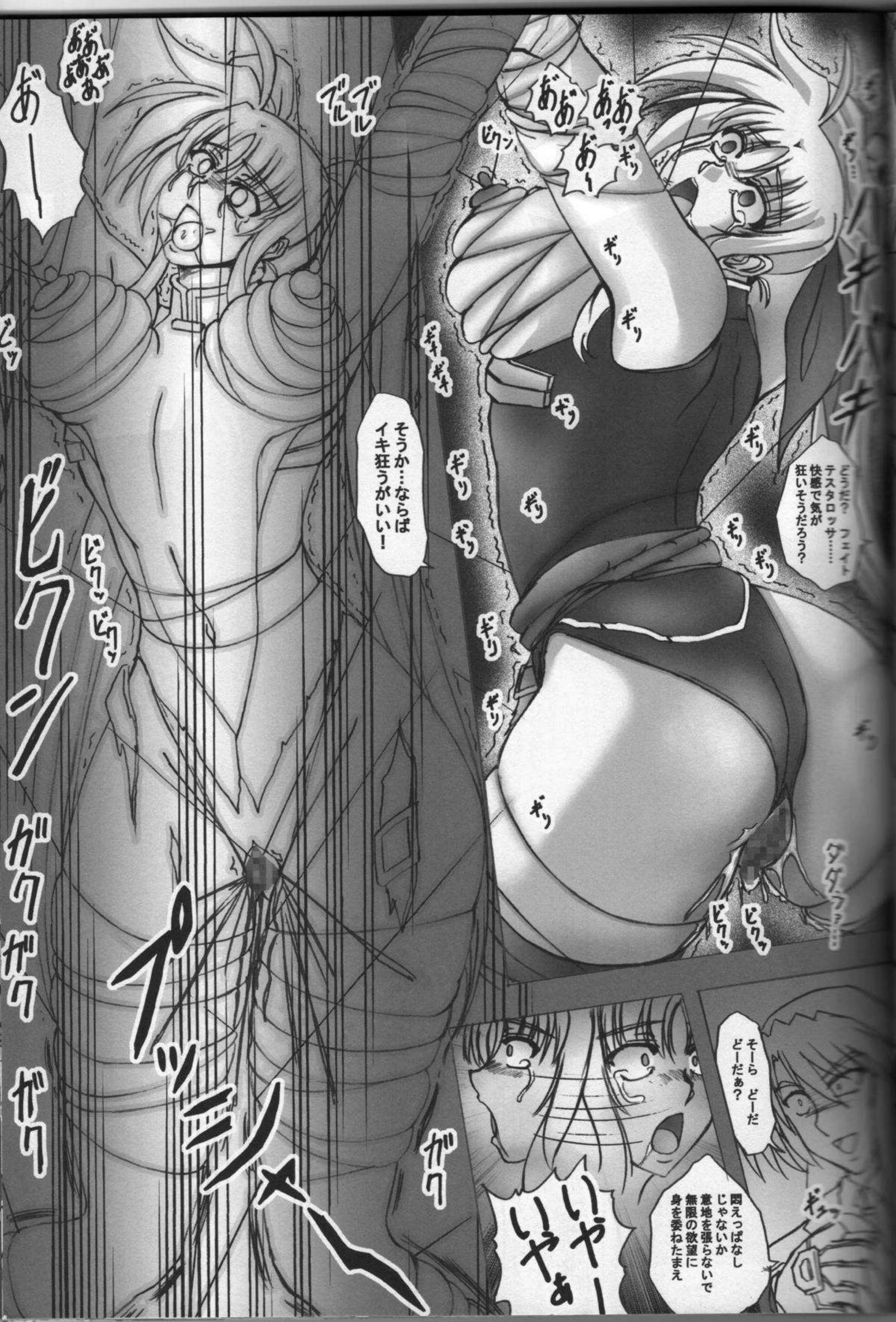
ギリギリ

ギリ

ギリ...

ギリ

ニャアアアア



ああああ

ズルズル

ああああ
ぎゅぎゅ

どうだ？ フニイト
テスタロッサ……
快感で気が
狂いそうだろう？

そうか……ならば
イキ狂うがいい！

ビク
ビク
ビク

ガク
ガク
ガク

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ギリ
ギリ

ギリ
ギリ

ギリ

ギリ

ギリ

ギリ

ビク
ビク

そーら どーだ
どーだあ？

悶えっぱなし
じゃないか
意地を張らないで
無限の欲望に
身を委ねたまえ

いや
いや
いや

ガク

おわっ…た…
耐え…切った…
のか…？

あぁ…

びくっ

…素晴らしいよ
フェイト・テストロッサ
全身の性感を剥き出しにされて
なお堕さないとは…ね…

このまま責め続けても良いのだが
ここまで耐え切ったキミに敬意を評して
最後の調教に行かせてもらうよ

強烈に発情効果を促成させる
再生ナンパーズの催淫精液…
今の敏感なキミの肉体に
ぶちまけたらどうなるだろうねえ

そして さらに残る4人の精液を
混ぜ合わせたらどうなるか…
どうだい…想像するだけで
身震いがするだろう？

混ぜり合うことで
より効果を増す
催淫精液…
あれを今浴びたら…
もう…

ダラッ

さーて
そろそろ私たちの
順番かな？

あれ？ でも
ぶっかけてないのって
フルバックのウーノ姉と
チャージ中のデイエチの
2人だけじゃないの？
残り4人だっけ？

私はまだです
オフェンスはディードが
メインでサポートのみ
だったんで
あとはキーボード
叩くのが仕事です

あ、そうなん？
それにしつ
オイシイ所
もってこいな
オマエ

実は私も
まだですのお

調教中は
何度ぶちまけて
やろうと
思ったことか、

やっぱりオイシイ所は
一番最後に
取っておかないと
つまりませんから

メ行姉 略して
ズルイ
ズルメガ

では…裏を
始めようか…

私の可愛い作品たちと
フェイト・テスタロッサ
を汚せ!

私の精液の味を
二度と忘れない
ようにな!

ドクターと同じ
男根でじっくりと
騎ってから...

肉体の隅々まで
精液で染め上げて
差し上げます...

ぞんない

グウー

ああ
ゴシユ

あう
びん
びん

ス
オ
オ
オ

ゴシユ
ゴシユ

ス
ス

ゴシユ
ゴシユ
ゴシユ
ゴシユ
ゴシユ
ゴシユ



あああ……
すごいにおい……
ビクビクしてる……

体中を
コスられてるだけで
堕ちちやいそう……

やめて……
もう……これ以上
感じさせないで……

ズシュー

ビクビク

ムリッ

ブシュー

ブシュー

ブシュー

ブシュー

ズシュー

ムリッ

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ブシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー

ズシュー



最後まで
あきらめない...



どんなに
責められても...
負けない!



.....た
たなきや...



最後まで私を
楽しませてくれる...
フェイト・
テスタロッサ...

もっと精液を
浴びせかけて
欲しいんだね.....



今の私には責めを
受け止めることしか
できないから.....



はあはあま...

くらあ...



イゴゴゴ...



シラッ
シラッ
シラッ
シラッ
シラッ



シラッ
シラッ
シラッ

トドメをさせ

あはあ
あはあ
あはあ

バンシュウ

バンシュウ

バンシュウ

バンシュウ

バンシュウ

バンシュウ

バンシュウ

ストリーム

あはあ
あはあ
あはあ

バンシュウ

バンシュウ



バサァ

あはあ...

イノーマス
カノン...

発射...

バサァ

ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア

あう

ベ
ニ
ヤ
ッ





ずる

や……かた……ふ……ち……い……ふ……い……ふ……

まだ……
……

ずる

ずる

ずる

ちく……い……き……れ……て……い……く……
ちく……い……き……れ……て……い……く……

びん

びん

脊髓反射的に
与えられた快楽に反応し
あちこちから
イキ汁垂れ流し……
壁にへばりつく様とい
まるで虫ですわね……

いえ……白濁液で
ぬめりながら
地面を這い回る
姿はナメクジかしら

……死にかけた
ナメクジに
塩をかけるのって
こんな気持ち
なのかしらね……

ショコ
ショコ

びん

キリ



あまのあまのあまの

とろけなさい！

ドム

ドム

ドム

ドム

ビュル

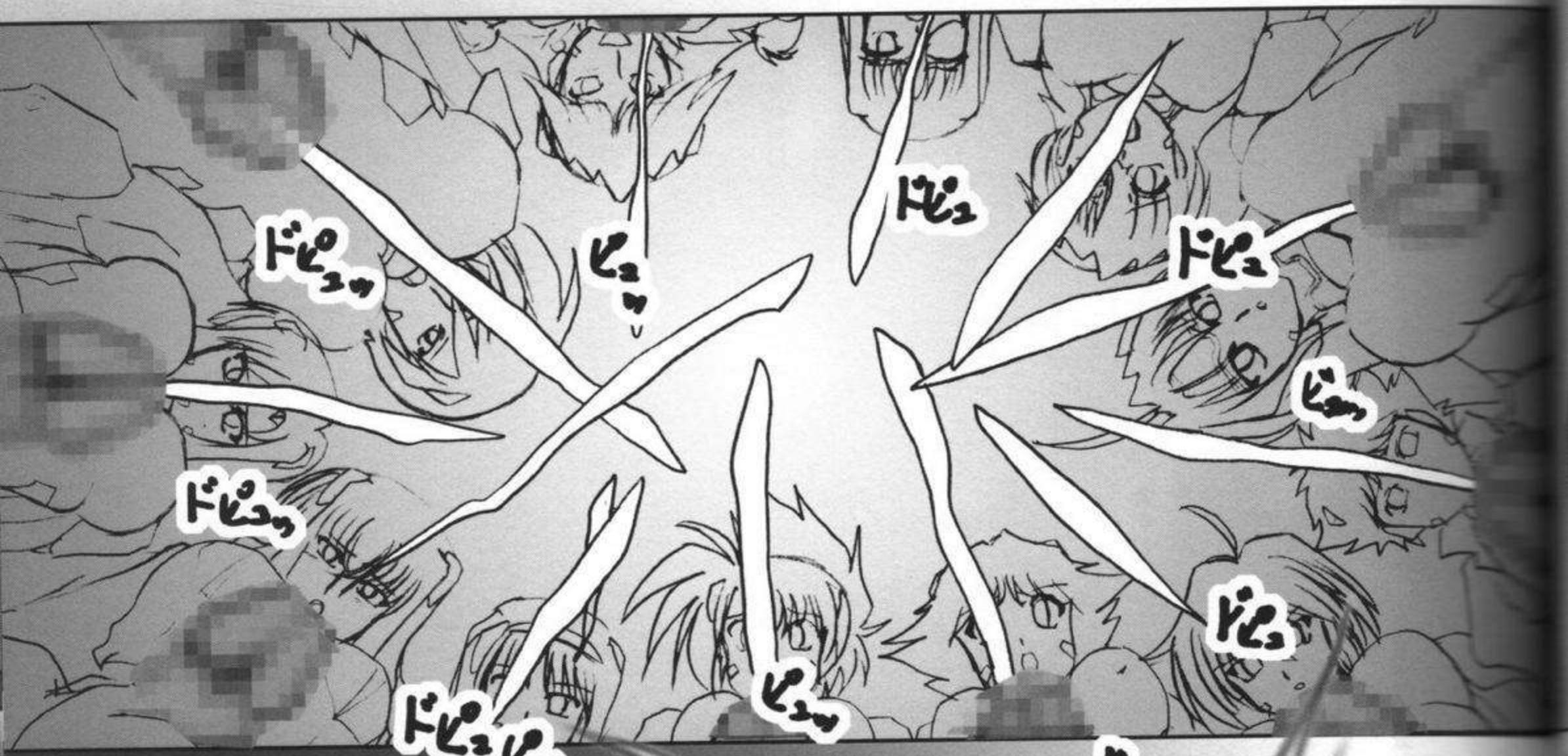
ビュル

ビュル

ビュル

ドム

ぬらあ...



あはああ...

あはあ...

ドク
ドク
ドク
ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

シッ

シッ

シッ

シッ

ああ…きもちいい…
また…イッてる…
もう…何…百回…深イキ
したか…わからない…

でも…こんな…に
イッてる…のに
ものたりなさ…を
感じてるのは…
何故…？

そう…か

アレが…
足りないんだ

欲しい…

太くて硬い
アレが
欲しい…

私の膣内なかに
ねじ込んで欲しい…
そして熱いたぎりを
ぶちまけて欲しい…

ドコ…

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

欲しい

ぷるぷる

肉体の内側からの
責めが無いから
満たされないだろう？

キミが満たされる方法が
たったひとつだけある…
もうわかっているね

カッ

カッ

ピクッ

ピクッ

キミさえよければ
コレで思う存分に
責めてあげるのだが…

あ…

はふ

あう

ピク

ピク

ピク



でも...

あ...

欲しい...
欲しくて
たまらない.....

ずる...

だめなのに...
あんなモノ
欲しがっては
いけないのに.....

.....自分から
くわえたりしたら
もう戻れなく
なってしまう.....



ぎゅっ...

あ...

あ...

は...

たまらないの...

このにおいが...
このかたちが...
この味が欲しいの.....

ハハハハハハ！ ついに
フェイト・テストロッサが
自ら私のモノをくわえた！

フェイト・
テストロッサが
私に屈服した！
この瞬間をどれだけ
待ちわびたことか！

気持ちいいよ
フェイト・テストロッサ！
キミの舌使いは
最高だよ！

ビクビクしてる…
もうすぐ出る…
ああ……くる……

これが
いとおしくて
たまらない…

はやく
ちょうだい…

私の口の中に
熱くて濃い
ぶちまけて
ほしい…

ちゅぷ
ちゅぷ
出して…

んん

ちゅぷ
ちゅぷ

おっと
おしゃぶりは
ここまでだ…

あ…

私のモノで肉壺を
掻き回して欲しい
だろう？

だったら股を開いて
おねだりしたまえ

……だめだよ
そんなの……

しゅん



…自分から股を開いたら
もう戻れなくなっちゃうな……

は、

は、

は、

でも…

もう…
どうでもいいの…

うっ

ガ

ム

ア

……ハメてください……

教授の肉棒で私の蜜壺を
かきまわしてください……

はあ

はあ

はあ

だって…
きもちいいんだもの

ぬ

おは

あー

すーあーん

あはあ

あーん

あーん

あーん



あーん

あーん

気持ちいいよ
フェイト・テストロッサ
キミの肉壺は最高だ！

どうだい？ 私の
モノを啜え込んだ
気分は？

すーいーのーのー
もっしー



ズンズン

ズンズン

ズンズン

ガク

ズン

キュッ

ド

ビュッ

ゴホ...

もう体が
とろけちやいそう...
あ...あああ...あ...

膣内で...大きく...
なってる...出して...
中に精液出して...

アッ

あッ

あッ

あ...あ...

ビュッ

ビュッ

イル

パァ

みなぎる...
みなぎるぞ！
魔力が
流れ込んできた

これなら何日でも
キミを犯し
続けられそうだ

あめ
クリヤん

今度は尻の穴で
楽しませていただくよ
フェイト・テストロッサ！

あめ
はむ
んっ

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ

一度 心の籠が外れた
フェイトは
今まで耐え続けていた
欲望が一気に開放され
餓えた獣のように
肉欲を食った

挿入無しで散々
イカされ続けた肉体は
それまでの調教で快樂の味を
徹底的に刷り込まれた
こともあり
歯止めが利かなくなっていた

かほめ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビク



止め処なく押し寄せる
圧倒的な性欲の前には
鍛えぬいた精神力も
清く気高き心も
何の役にも立たなかった

いけないことだと
判つていても
淫らな肉体が
肉棒を食ふことを
やめられなかった

はあああん

んんん
んんん

グッ
グッ

グッ
グッ

んんん

んんん

んんん

んんん
んんん



あああ
あああ
らん

アリン

フェイト・
テストロッサ・
ハラオウンは
快樂に屈したのだ

バコバコ

バコバコ

バコバコ

バコ

バコバコ
バコバコ
バコバコ
バコバコ
バコバコ

アッアッ

アッアッ

はうん!
ビクビク

アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

ここか?
ここがいいんだね
フェイト・
テストロッサ!

あ
イガ...せいえきなかにだされて...イガ...
...
...

クククク
クククク

ビクビク

ぬる...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

無限の欲望の果てまで
一緒にイこうか...
フェイト・テスタロツ
サ!

ドロップ

ドロップ

ビク

ア

ア

ア

ア

ア



まずは

ウーノ クアットロ
オットー デイード
来たまえ まずは
5人で輪姦そうじゃないか

ではみんなで
全身性器と化した
フエイトくんの
肉体を楽しむと
しよう...

彼女の肉壺が
良くて
忘れていたよ

教授も私らも
お嬢様と
戯れたいッス

お嬢様...

ぢゅん...

あうん...

ピクピク

グ
バァー...

ビクン

ビクン

ズプ
ドプ

ビキヤ

ビキヤ

あうん...

Epilogue

その後魔力フィードバック
システムの効果により
自意識を回復したフエイトは
何度となく抵抗を試みた
だがその結果は
ことごとく快楽に溺れるという
無残なものだった

何度も快楽漬けにされ
精神が焼ききされるまで犯された
その記憶が蓄積することに
フエイトの心は傷ついていった
汚され堕ちた罪悪感も手伝って
墮ちるまでの時間は
回を重ねるごとに短くなっていた

いつしかフェイトは
抵抗することをやめた……
必死に抵抗したあげく
落ちることの繰り返しにより
己の淫乱さを思い知らされ
抗うことは無駄だと悟つたのだ
そして現実から逃避するため
ただただ性行為に耽った……

ズリ

ジュブツ

ジュドピュツ

ジュツ

ビエツ

ド
プ
ツ

ゴ
プ
ツ

フイツ
フイツ

んあ
あほ

はぞち

はぶ

ぢうら

SEXに身を委ねているうちに
フェイトの清く正しい心は
骨の髄まで性欲に溺れてしまった
もう性交無しではいられないほど墮落し
さらに過激に犯されることを
心も体も待ち望むようになっていた

そう…

フエイトは
自ら

犯されることを願Prayい求めたのだ

シユコ

ドシユツ

ズハツ

シユコ

シユコ

あ

あん

あ

オノレはなんに
かまわねえ…

シユコは
かまわねえ…

オノレはなんに
かまわねえ…



ドニョ

...
...
...

...

...

...

...

...

はま
...

...

...

...

...

...

...

...

...

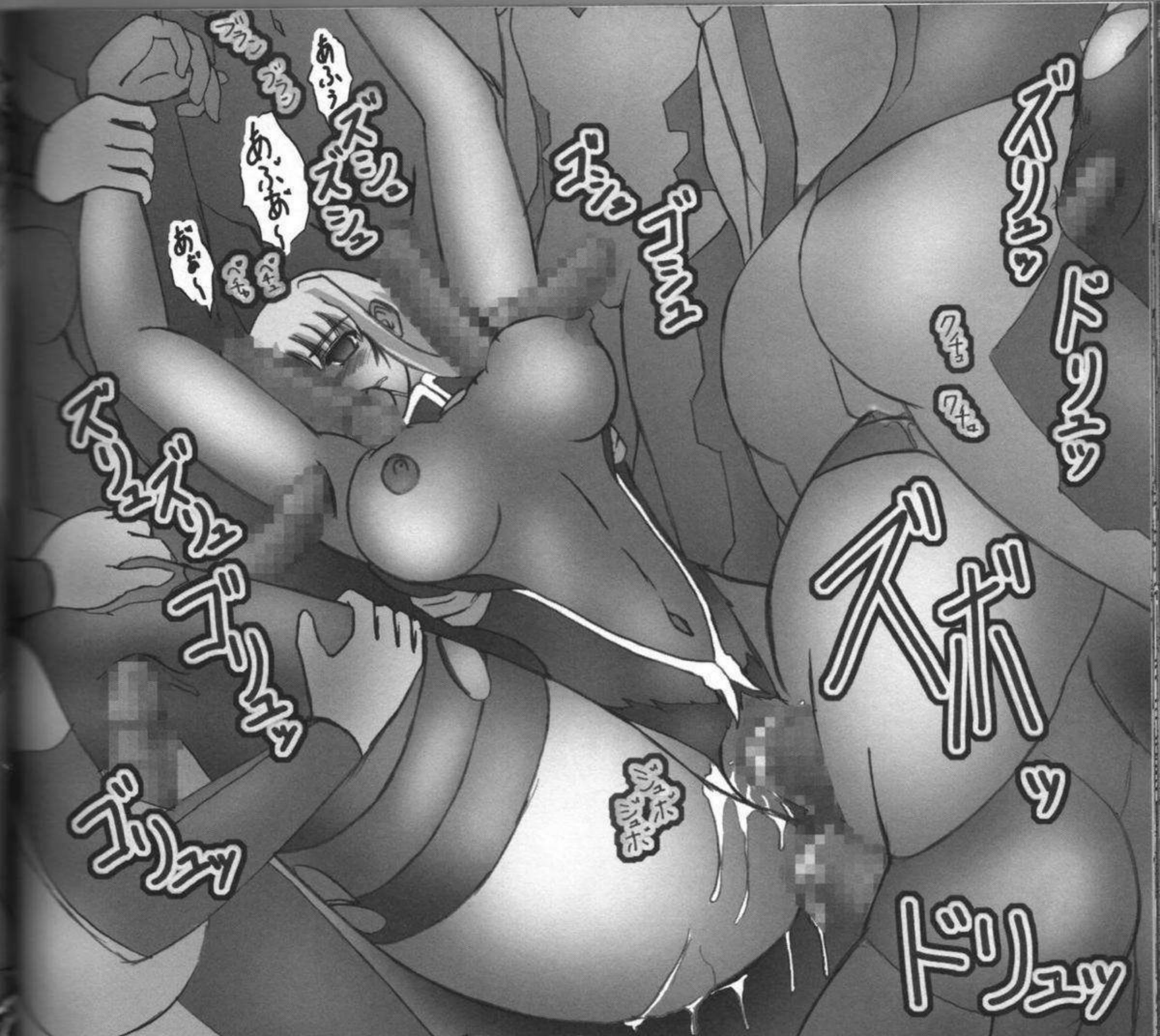
...

...

...

...

...



あふあふ
あふあふ
あふあふ
あふあふ
あふあふ

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

ドクドク



ドクドク
ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク
ドクドク

ドクドク

ドクドク

インコは
おんたには
しげのうらで
+おんたは!

ワキマ●コ同様
たまな、肉厚...
腸が止まる

アト...
アト...
アト...

アト...
アト...
アト...

あ
あ
あ

あ
あ
あ



指先を
感じるの。
チキッ
チキッ
でん

そばに顔が感じたり
もやもやしてさ

力を
行使した
よいのですわ

お嬢様、脚-足
をさすいすー

あー
あー
あー

あー
あー
あー

あー
あー
あー

あー
あー
あー

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

せいじんをまたも
もどかして

オウ...
IUSゴイ...

クラン
ドレイク

オウ...
せいじんをまたも

インクス
カノン!

デ
クラン

や...
見られて...
イク...

ライア
マス...

ドク



ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

すごいー
せいえきが私のカラダ
犯してさー
イッ...イッ

あはあ
あはあ

もっと私を
使ってさー
ズボズボ
してさー

たくましく愛しい
教授のチンポでチンポで
死してさー

ビュッ
ビュッ

ドグッ
ドグッ

グッ
グッ

きもちいい……

わたしのからだ……
またおまんこに
されてる……

こうやって
ずっと教授の
チンポを
からだで
啜っていたい……

せいえきをたくさん
かけてほしい……

ああ……

落ちていく……

心が壊れていく……

この瞬間がいちばん
きもちいいの……

そして目が覚めたら

また
きもちいいこと
してもらえるんだ

ずっと……ずっと……

ENDLESS.....

編集後記

2009 12/18記

by きりもみ☆しゅーと

締め切りギリギリまでぶっちぎって、なんとか完成させました。夏コミの時は時間無くて白い本になっちゃったので、今回はリベンジです。ラストのエピローグはギリギリで思いついて一日で作ったもの…白っぽいけどオマケだからいいよね？……って一回目の入稿時にはココに書いたんですが、その後、通常セットで割り増しより特急セットの方が締め切り延びて安いことが発覚、ボリューム追加でガッツリ仕上げられました（印刷所のお姉さん曰く「今回はキッチリした原稿を仕上げる運命にある」んだとかw）

なのは人気もメディア展開で国民的？になってきたので嬉しい限り。これからもフェイトさん本を作っていこうと思うので、よろしくお願いします（スバティアやシグナムはやてあたりも描いてみたかったり）。では、この辺で。この本を手にとってくれた方、土壇場で助っ人してくれた友人に感謝！

◆◆おくづけ◆◆

真ソニだよフェイトさんシリーズ

『**pray=rape**』

発行：鉄球チェーン

URL <http://vertical.sblo.jp/>

発行日：2009 12/31

印刷：太陽出版様

※無断掲載・複製・

画像のアップロードを禁ず

※18歳未満の閲覧禁止

Fate.
T.Harlown

Sin-Soni
dayo!
Fate-san
series Vol.3
presented by
鉄球チェーン



NO.1
Nico

VS.....



NO.8
Otto



NO.19
Dieci

& Dr.Scaglietti

